



生活支援コーディネーターだより



秋の気配を色濃く感じられる頃、いかがお過ごしでしょうか。

令和6年10月 第5号

支え合いの仕組みづくり~できることから始めませんか

〇住み慣れた地域で暮らし続けるために

高齢化や人口減少により、さまざまな問題が生じてくることが予想されます。例えば、介護サービスを考えると、需要の増加や人口減少による担い手不足により、必要なサービスが受けられなくなるかもしれません。

一方、核家族化により、高齢者のひとり暮らしや高齢者のみ世帯が増加しています。高齢者世帯では、電球交換やゴミ出しなど、多世代世帯に比べ、地域で生活上での多様なニーズがあります。

そのような高齢者の生活課題を、地域住民を中心とするさまざまな主体による支え合い活動で解決することで、地域生活を続けることができます。地域住民がつながり、自分のできることで支え、ときには支えられ、お互いさまの支え合いで、いつまでも安心して暮らせるまちにしていきたいです。

〇地域の支え合いは、高齢者だけの話？

支え合いを必要とするのは、高齢者に限ったことではありません。障がいのあるかた、介護をしている家族、子どもだけで留守番している家庭、子育てに悩むお父さんやお母さん、地域生活に戸惑う外国籍のかたなど、手助けを必要としている人がいます。地域のさまざまな課題に目を向け、地域で支え合って、笑顔をつなげていけるといいですね。



地域のお宝を探してみよう！

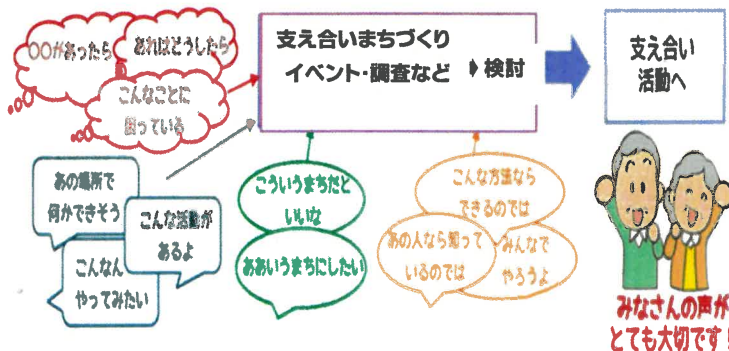
支え合いから始まる地域づくり

地域支え合い講座

地域には、日頃の何気ないあいさつや見守り、ゆんたく、地域の活動など住民同士のゆるやかな支え合い「地域のお宝」があります。

日時:令和6年10月23日(水) 14時~16時

場所:いちゆい具志川じんぶん館 大研修室
詳しい事はうるま市社会福祉協議会まで連絡下さい。



かつれん



与那城西原自治会で包括支援センターによる人生会議&もしパナゲーム 体験会がありました。

何気ない会話から、もしもの時に備え、もしばなゲームを通してグループで考えてみました。



具・北



地域のお宝
みつけた
♡♡



9月は、敬老会や秋祭りなどのイベントがたくさんありました。お疲れ様でした♪

今回、1月に発生した能登地震の被災者へ、うるま市川崎在中の金城米子さん(88)が、「特定非営利活動法人 まくとぅー」さんの協力にて、マフラー48枚を贈ることができました。1つ1つ心を込めて編まれたマフラーには、「ちばりよー！能登!!」と書かれたメッセージカードが添えられていました。

具・ひがし

9月29日(日)17時から宇堅自治会にて、敬老会が行われました。

「ひさしぶり～。宇堅に住んでいるのに、なかなか合わないね～」と手を取り合っ

つつまでも、おしゃべりをしているおばあちゃん。肩をたたきながら何度もグラスを合わせるおじいちゃん。

